

追悼 理事 中山 忠行君

本会理事（早稲田大学理工学部教授）中山忠行君は、昭和 51 年 7 月 28 日午前 7 時 50 分、肝硬変のため東京都板橋区の日大板橋病院で逝去せられました。ここに同君の冥福を祈り、つつしんで哀悼の意を表します。



弔 辞

本会理事中山忠行博士の急逝の報に接し悲しみに堪えません。

博士は昭和 35 年 5 月から 10 年余本会編集委員として、中枢事業である会誌「鉄と鋼」の編集業務に携われましたのをはじめ、講演大会の企画、運営にも参画されました。また昭和 50 年 4 月からは理事として本会の事業運営の推進に精力的な活動を続けてまいられました。

博士は母校早稲田大学教授として、金属工学科に籍をおかれ、研究と学生の教育に当られました。博士はご専門の金属合金の高温酸化挙動の研究分野で指導的立場にあつて活躍しておられましたことは何人も知るところであります。

博士のご指導を切望する私共にとりまして博士のご急逝は誠に哀惜に堪えません。

ここに日本鉄鋼協会を代表して博士のご業績に深甚の敬意を表し、謹しんでご冥福を祈り弔辞といたします。

昭和 51 年 9 月 3 日

社団法人 日本鉄鋼協会
会長 小林 佐三郎